

公立小・中学校の不登校の状況

不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあること（ただし、病気や経済的理由によるものを除く）をいう。
「不登校児童生徒数」とは、学校基本調査の小・中学校における「理由別長期欠席者数」のうち、「不登校」を理由として年度間に 連続又は断続して 30 日以上欠席した児童生徒数である。

1 不登校児童生徒数

区 分	年 度	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	男子	女子	合 計
小学校	平成22年度	34	57	75	88	169	182	307	298	605
	※	—	12	18	33	43	74	95	85	180
	平成23年度	27	50	83	125	146	213	339	305	644
	※	—	15	28	39	50	90	120	102	222
	平成24年度	28	39	86	109	186	163	323	288	611
	※	—	11	29	49	79	65	126	107	233
	平成25年度	23	49	64	123	163	218	337	303	640
	※	—	15	23	56	70	93	134	123	257
	平成26年度	27	58	84	116	188	235	400	308	708
	※	—	10	23	37	62	104	138	98	236
	平成22年度	539	734	883	—	—	—	1,084	1,072	2,156
	※	137	342	550	—	—	—	533	496	1,029
中学校	平成23年度	497	760	831	—	—	—	1,091	997	2,088
	※	152	367	489	—	—	—	527	481	1,008
	平成24年度	424	645	743	—	—	—	945	867	1,812
	※	135	328	394	—	—	—	516	341	857
	平成25年度	411	624	780	—	—	—	966	849	1,815
	※	111	296	425	—	—	—	418	414	832
	平成26年度	482	603	729	—	—	—	964	850	1,814
	※	133	293	424	—	—	—	448	402	850

(注) ※欄は、前年度も不登校を理由として 30 日以上欠席した児童生徒数を表し、内数で示している。

2 不登校児童生徒の在籍学校数

区 分	年 度	公 立 学校数	在 籍 学校数	在籍学校数の 割合
小学校	平成22年度	563	234	41.6%
	平成23年度	543	244	44.9%
	平成24年度	538	242	45.0%
	平成25年度	515	238	46.2%
	平成26年度	512	261	51.0%
中学校	平成22年度	247	217	87.9%
	平成23年度	248	219	88.3%
	平成24年度	248	218	87.9%
	平成25年度	246	208	84.6%
	平成26年度	243	204	84.0%

3 不登校となったきっかけと考えられる状況

区 分	年 度	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況						その他		合 計
		友人関係をめぐる問題		教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路にかか る不安※1	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等に関する問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子関係をめぐる問題	家庭内の不和	病気による欠席	あそび・非行※2	無気力※3	不安など情緒的混乱※4	意図的な拒否※5	いずれにも該当しない本人に関わる問題	その他	不 明	
	構成比	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題																		
小学校	平成22年度	18	79	22	53	3	1	5	21	63	93	41	51	8	142	173	30	55	24	12	894
	構成比	2.0%	8.8%	2.5%	5.9%	0.3%	0.1%	0.6%	2.3%	7.0%	10.4%	4.6%	5.7%	0.9%	15.9%	19.4%	3.4%	6.2%	2.7%	1.3%	100%
	平成23年度	9	76	37	71	3	1	3	11	60	107	36	73	16	169	217	48	43	21	14	1,015
	構成比	0.9%	7.5%	3.6%	7.0%	0.3%	0.1%	0.3%	1.1%	5.9%	10.5%	3.5%	7.2%	1.6%	16.7%	21.4%	4.7%	4.2%	2.1%	1.4%	100%
	平成24年度	10	82	29	80	4	0	3	22	59	103	35	58	11	143	188	47	16	19	18	927
	構成比	1.1%	8.8%	3.1%	8.6%	0.4%	0.0%	0.3%	2.4%	6.4%	11.1%	3.8%	6.3%	1.2%	15.4%	20.3%	5.1%	1.7%	2.0%	1.9%	100%
	平成25年度	18	74	32	63	3	0	6	21	52	85	46	69	8	151	225	44	34	16	17	964
	構成比	1.9%	7.7%	3.3%	6.5%	0.3%	0.0%	0.6%	2.2%	5.4%	8.8%	4.8%	7.2%	0.8%	15.7%	23.3%	4.6%	3.5%	1.7%	1.8%	100%
	平成26年度	14	79	31	76	6	3	6	17	66	134	44	48	6	201	238	74	31	42	17	1,133
	構成比	1.2%	7.0%	2.7%	6.7%	0.5%	0.3%	0.5%	1.5%	5.8%	11.8%	3.9%	4.2%	0.5%	17.7%	21.0%	6.5%	2.7%	3.7%	1.5%	100%
26年度 全国	313	2,903	855	1,825	118	42	162	573	2,378	4,931	1,232	2,366	239	5,947	9,327	1,489	1,359	1,391	411	37,861	
全国構成比	0.8%	7.7%	2.3%	4.8%	0.3%	0.1%	0.4%	1.5%	6.3%	13.0%	3.3%	6.2%	0.6%	15.7%	24.6%	3.9%	3.6%	3.7%	1.1%	100%	
中学校	平成22年度	60	444	48	236	49	54	67	99	123	185	106	146	257	454	456	111	86	36	64	3,081
	構成比	1.9%	14.4%	1.6%	7.7%	1.6%	1.8%	2.2%	3.2%	4.0%	6.0%	3.4%	4.7%	8.3%	14.7%	14.8%	3.6%	2.8%	1.2%	2.1%	100%
	平成23年度	50	432	52	223	42	37	94	71	117	191	93	140	261	507	466	174	88	25	45	3,108
	構成比	1.6%	13.9%	1.7%	7.2%	1.4%	1.2%	3.0%	2.3%	3.8%	6.1%	3.0%	4.5%	8.4%	16.3%	15.0%	5.6%	2.8%	0.8%	1.4%	100%
	平成24年度	67	328	36	205	41	33	73	85	90	163	78	105	177	455	430	122	60	17	49	2,614
	構成比	2.6%	12.5%	1.4%	7.8%	1.6%	1.3%	2.8%	3.3%	3.4%	6.2%	3.0%	4.0%	6.8%	17.4%	16.4%	4.7%	2.3%	0.7%	1.9%	100%
	平成25年度	53	339	36	189	42	36	70	79	93	142	62	115	168	481	434	138	83	11	33	2,604
	構成比	2.0%	13.0%	1.4%	7.3%	1.6%	1.4%	2.7%	3.0%	3.6%	5.5%	2.4%	4.4%	6.5%	18.5%	16.7%	5.3%	3.2%	0.4%	1.3%	100%
	平成26年度	41	321	37	199	30	39	64	67	113	154	79	109	160	456	467	179	60	21	30	2,626
	構成比	1.6%	12.2%	1.4%	7.6%	1.1%	1.5%	2.4%	2.6%	4.3%	5.9%	3.0%	4.2%	6.1%	17.4%	17.8%	6.8%	2.3%	0.8%	1.1%	100%
26年度 全国	1,060	14,910	1,520	8,975	1,616	2,139	1,786	2,780	4,508	8,520	3,538	7,548	8,190	25,877	27,276	4,743	4,789	1,306	1,254	132,335	
全国構成比	0.8%	11.3%	1.1%	6.8%	1.2%	1.6%	1.3%	2.1%	3.4%	6.4%	2.7%	5.7%	6.2%	19.6%	20.6%	3.6%	3.6%	1.0%	0.9%	100%	

(注1) 平成18年度調査から、複数回答を可としている。

(注2) ※1～※5は、平成22年度からの調査項目。

3 「不登校になったきっかけと考えられる状況」とは、不登校になった時点において当該児童生徒が置かれている状況のことをいい、具体的には次のようなものが考えられる。

- ・いじめ …………… 本調査で定義するいじめに該当するもの
- ・いじめを除く友人関係をめぐる問題 …… 仲違い等
- ・教職員との関係をめぐる問題 …………… 教職員の強い叱責、注意等
- ・学業の不振 …………… 成績の不振、授業がわからない、試験が嫌い等
- ・進路にかかる不安 …………… 将来の進路希望が定まらない等
- ・家庭の生活環境の急激な変化 …………… 親の単身赴任等
- ・親子関係をめぐる問題 …………… 親の叱責、親の言葉・態度への反発等
- ・家庭内の不和 …………… 両親の不和、祖父母と父母の不和等本人に関わらないもの
- ・病気による欠席 …………… 医師による診断の有無等に関わらない、心身の病気
- ・あそび・非行 …………… 遊ぶためや、非行グループに入ったりして登校しない
- ・無気力 …………… 無気力でなんとなく登校しない、登校しないことへの罪悪感が少なく、迎えに行ったり強く催促すると登校するが長続きしない
- ・不安など情緒的混乱 …………… 登校の意志はあるが身体の不調を訴え登校できない、漠然とした不安を訴え登校しないなど、不安を中心とした情緒的な混乱によって登校しない（できない）
- ・意図的な拒否 …………… 本人が学校に行く意義を認めない、自分の好きなことに集中したい等

4 不登校児童生徒への指導結果状況

区 分	年 度	指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒		指導中の児童生徒			
						うち継続した登校には至らないが好ましい変化がみられる	
		人	割合	人	割合	人	割合
小学校	平成22年度	234	38.7%	371	61.3%	116	19.2%
	平成23年度	172	26.7%	472	73.3%	195	30.3%
	平成24年度	198	32.4%	413	67.6%	135	22.1%
	平成25年度	227	35.5%	413	64.5%	116	18.1%
	平成26年度	242	34.2%	466	65.8%	172	24.3%
中学校	平成22年度	699	32.4%	1,457	67.6%	444	20.6%
	平成23年度	632	30.3%	1,456	69.7%	529	25.3%
	平成24年度	568	31.3%	1,244	68.7%	421	23.2%
	平成25年度	547	30.1%	1,268	69.9%	404	22.3%
	平成26年度	564	31.1%	1,250	68.9%	356	19.6%

5 「指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒」に特に効果のあった学校の措置（複数回答）

区 分		小学校					中学校				
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
学校内での指導改善工夫	研修会等を通じて全教職員の共通理解を図った	54	49	60	57	65	79	79	76	70	78
		6.8%	7.5%	8.7%	7.2%	7.0%	7.7%	7.4%	7.3%	7.6%	7.8%
	全ての教職員が児童生徒に対し学校全体で指導にあたった	47	34	41	54	59	57	59	55	56	61
		5.9%	5.2%	5.9%	6.9%	6.3%	5.5%	5.5%	5.3%	6.1%	6.1%
	教育相談担当の教職員が専門的に指導にあたった	19	19	16	20	21	42	36	38	45	40
		2.4%	2.9%	2.3%	2.5%	2.3%	4.1%	3.4%	3.6%	4.9%	4.0%
	養護教諭が専門的に指導にあたった	24	27	24	29	45	58	53	57	48	48
		3.0%	4.1%	3.5%	3.7%	4.8%	5.6%	4.9%	5.5%	5.2%	4.8%
	スクールカウンセラー、心の教室相談員等が専門的に相談にあたった	64	39	56	66	79	114	121	105	99	96
		8.0%	6.0%	8.1%	8.4%	8.5%	11.1%	11.3%	10.1%	10.8%	9.6%
	友人関係を改善するための指導を行った	59	47	50	46	55	71	71	76	51	63
		7.4%	7.2%	7.2%	5.8%	5.9%	6.9%	6.6%	7.3%	5.6%	6.3%
	教職員との触れ合いを多くするなど、教職員との関係を改善した	70	51	56	66	73	60	65	72	61	71
家庭への支援	授業方法の改善など授業がわかるようにする工夫を行った	49	38	32	39	38	36	47	34	31	26
		6.1%	5.8%	4.6%	4.9%	4.1%	3.5%	4.4%	3.3%	3.4%	2.6%
	本人が意欲を持って活動できる場を用意した	61	54	52	65	66	50	55	56	48	55
		7.7%	8.3%	7.5%	8.2%	7.1%	4.8%	5.1%	5.4%	5.2%	5.5%
	保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった	54	52	49	55	74	95	102	89	81	94
		6.8%	8.0%	7.1%	7.0%	7.9%	9.2%	9.5%	8.5%	8.8%	9.4%
	登校を促すため、電話をかけたリ迎えに行くなどした	102	82	84	92	108	101	109	104	100	100
		12.8%	12.6%	12.1%	11.7%	11.6%	9.8%	10.2%	10.0%	10.9%	10.0%
	家庭訪問を行い、相談にのるなど様々な指導・援助を行った	78	62	67	81	105	121	110	132	111	108
		9.8%	9.5%	9.7%	10.3%	11.3%	11.7%	10.3%	12.6%	12.1%	10.8%
機関連携	保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った	69	62	57	69	81	82	95	83	72	101
		8.7%	9.5%	8.2%	8.8%	8.7%	8.0%	8.9%	8.0%	7.9%	10.1%
	教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった	26	21	27	22	35	32	42	39	23	27
		3.3%	3.2%	3.9%	2.8%	3.8%	3.1%	3.9%	3.7%	2.5%	2.7%
そ の 他	病院等の治療機関と連携して指導にあたった	13	11	13	25	23	28	22	21	19	23
		1.6%	1.7%	1.9%	3.2%	2.5%	2.7%	2.1%	2.0%	2.1%	2.3%
		8	5	8	2	4	5	7	7	2	7
		1.0%	0.8%	1.2%	0.3%	0.4%	0.5%	0.7%	0.7%	0.2%	0.7%

（注） 上段を回答数，下段を年度別構成比としている。

6 相談・指導を受けた機関等（複数回答）

区 分		小学校					中学校				
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
学 校 外	① 教育センター及び市町の適応指導教室	42	45	52	60	45	179	184	164	171	187
	② 教育センター等教育委員会所管の相談機関（①を除く）	42	33	42	25	32	36	60	22	24	31
	③ 児童相談所，福祉事務所	46	68	48	42	40	139	128	83	84	86
	④ 保健所，精神保健福祉センター	6	6	7	2	2	8	8	7	1	2
	⑤ 病院，診療所	79	102	82	93	107	188	177	137	140	153
	⑥ 民間団体，民間施設	22	20	27	29	28	44	47	43	42	39
	⑦ 上記以外の施設	23	32	23	21	22	52	38	22	20	36
学 校 内	⑧ 養護教諭	126	170	171	160	164	460	409	449	337	371
	⑨ スクールカウンセラー，相談員等	241	270	294	285	308	908	860	813	758	778